

古くて新しい鉄へのこだわり

鋼板・帯鋼の専門店

日本磨帯鋼株式会社

2014 年度 環境活動レポート

(2014年 4月～2015年 3月)



ホームページアドレス：<http://www.migakiobikou.co.jp/>

メールアドレス：sugimoto@migakiobikou.co.jp

作成日：2014年9月5日

更新日：2014年10月6日

□ごあいさつ

温暖化等の地球環境の悪化を防止するために一企業としてどう取り組んでいくのか！明確な環境方針のもと、全社一丸となって無駄な資源やエネルギーの消費を抑え、ゴミの排出を減らすことに最善を尽くします。またエコアクション21を通して今後も更なる環境活動を行なっていく予定です。

日本磨帯鋼株式会社
代表取締役 杉本 幸久

環境方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球環境悪化を防ぐために、企業の活動(鋼材販売活動)において、必要以上のエネルギーの消費をなくし、省エネ、節水活動、廃棄物の少量化に取り組めます。又、地球環境にやさしい商品の取り扱いを増やすことによって環境負荷の低減を図り、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・電力(工場、事務所)
 - ・自動車燃料(営業車)
- ②廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - ・一般廃棄物(可燃ごみ)
- ③排水量の削減(水資源の保全)
 - ・一般水道水
- ④磨帯鋼の環境用途の提案(製品・サービスへの環境配慮)
 - ・振動騒音防止材(隙間ゲージ)などへの利用
 - ・環境教育への利用
 - ・ネット販売でのPR
- ⑤エコ商品の購入(グリーン購入)

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年10月1日

改定日：2012年5月11日

代表取締役 杉本幸久

□登録事業所の概要 (全社が認証取得範囲)

- (1) 事業所名及び代表者名
日本磨帯鋼株式会社
代表取締役 杉本幸久
- (2) 所在地
本社：大阪市東成区神路3丁目2番21号
資材倉庫：大阪市東成区神路4丁目10番22号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 杉本貴文 TEL：06-6971-5531

(4) 事業内容 (認証・登録の範囲)

鋼板・帯鋼の加工販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 2.17億円

主要製品生産量 1200トン

	本社
従業員	8名
本社工場敷地面積	246m ²
資材倉庫敷地面積	168m ²

(6) 事業年度 4月～3月

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年	2013年	2014年
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂	10,491	8,702	8,179
一般廃棄物排出量	t	1.06	0.73	0.64
総排水量	m ³	130	132	86

(注) 産業廃棄物は発生していない。

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2014		2015	2016
			(目標) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	6,077 2007年度	5,894 97%	4,802 79%	5,834 96%	5,773 95%
自動車燃料の 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	4,005 2009年	3,404 97%	3,377 84%	3,404 85%	3,404 85%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	10,082	9,299	8,179	9,238	9,177
一般廃棄物の削減	kg	1,060 2011年	742 70%	637 60%	742 70%	742 70%
産業廃棄物の削減	kg	該当なし	-	-	-	-
水道水の削減	m ³	187 2007年	131 70%	86 46%	131 70%	131 70%
エコ製品の購入	%	活動目標	50%	89%	50%	50%
磨帯鋼の環境への貢献		活動目標	ホームページでのPR、帯鋼の用途の拡大			

・二酸化炭素削減目標には都市ガスは含まず

・電力のCO₂換算係数は0.378kg-CO₂/kWhを使用

□環境活動の取り組み計画と評価

4月～3月までの目標とその実績について、その評価を行った

取り組み計画	活動達成状況		次年度計画	評価（結果と今後の方向）
	評価	備考		
電力の削減	数値目標	達成		
窓の遮光・断熱	○		継続	新工場に移って、電力消費量を減らす事が出来た。効率の良い省エネ型工場・事務所にしていきたい。
不要照明の消灯	○		継続	
クールビズ運動	○		継続	
設備の空運転防止	○		継続	
工程ロス削減による稼働時間	○		継続	
冷房28℃ 暖房20℃	○		継続	
自動車燃料の削減	数値目標	達成		
アイドリングストップ	○		継続	走行距離は出来るだけ減らすと同時に、エコドライブでガソリン消費量をトータルで減らすことができた。
エコドライブ	○		継続	
冷暖房の控え目使用	○		継続	
一般廃棄物の削減	数値目標	達成		
裏紙使用	○		継続	3Sを進める事で、資源の再利用化がやり易くなるので、継続して3S活動・エコアクションを進めていく。
ミスコピーの防止	○		継続	
大阪市の紙の分別規制に対応	○		継続	
帳票見直しによる印刷物の削減	○		継続	
両面印刷用プリンタ使用	○		継続	
マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進	○		継続	
産業廃棄物の削減				現在は発生していない。
水道水の削減	数値目標	達成		
水の出っぱなしの禁止	○		継続	旧工場から新工場に変わって、効率の良い水使用になり、全体で節水することができた。
	○		継続	
エコ製品の購入		未達成		
電気製品、自動車等環境の良いものを選択	○		継続	社内で使用する文房具や什器・備品はエコ製品が増えた。エコ製品の使用を継続。同時にムダ使用を排除するよう指示
文房具などの購入	○		継続	
磨帯鋼の環境への貢献				
隙間ゲージ（振動騒音防止）	○		継続	ネットを通して磨帯鋼の使用を促進していく。環境にやさしい材料であることをPRしていく。
実験資材（環境教育）	○		継続	
磨帯鋼の環境用途調査	○		継続	
ホームページの改善	○		継続	

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
騒音・振動規制法	シャーリング機
フロン回収・破壊法	業務用空調機

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

代表者の見直し

2014年度はCO2の削減をすることができた。その要因は①新工場の電気機器や設備が省エネ型に変わった。②車はハイブリッド車を使っている。③3S活動とエコアクションを同時進行することで社員全員のエコ意識が高まってきた。今後もCO2の削減、廃棄物・水道水使用の削減に取り組んでいきたい

グラフで見るCO2・廃棄物・水道水の削減(増加)状況

